

AbemaTV「Wの悲喜劇」 “部落ってナニ？” で伝えたかったこと

『ちゃんと知らないこと』が生み出す差別がある

ネットなどに広がる悪質な部落差別が問題になっている中、「部落ってナニ？」をテーマに被差別部落出身のゲスト4名が赤裸々に経験を語った、「Wの悲喜劇」を企画・プロデュースした鎮目博道さんに講演いただきます。

日時

7月13日(土) 10:00~12:00

場所

リーパスプラザこが 中央公民館 大ホール
古賀市中央2丁目13-1

講師

しずめ ひろみち
鎮目 博道 さん

映像プロデューサー/ライター/シーズメディア代表



会場情報

● 入場料 無料 ● 高齢者外出促進事業 対象

● 手話通訳・託児 あり

※託児は予約制です。予約方法は裏面をご覧ください。



第44回古賀市同和問題を考える市民のつどい 主催:古賀市・古賀市教育委員会

お問い合わせ先

古賀市 人権センター 人権教育・啓発係

TEL:092-942-1128 Eメール:jinken@city.koga.fukuoka.jp



AbemaTV「Wの悲喜劇」 “部落ってナニ？”で伝えたかったこと

「なんとなく昔から存在を感じることはあっても

ちゃんとは知りませんでした。僕もそうなんです」

みなさんは、被差別部落ってご存知ですか。
そして未だに部落差別という問題があることをご存知ですか？
多分、ほとんどの方がご存知ないのではないかと思います。
「知ってるよ」という方でも、ではどれだけ知っているかということ
多分そんなにご存知ないのではないのでしょうか。
いいえ、これ、僕も全くそうなんです。
なんとなく昔から聞いたり、存在を感じたりすることはあっても、
ちゃんとは知りませんでした。
だから、昔からこの問題についてきちんと番組にして伝えたかったん
です。
今回の講演が、部落差別が完全になくなるための小さな一歩になるこ
とを願っています。



AbemaTV「Wの悲喜劇」“部落ってナニ？”

情報が一人歩きし、どのような意味を持つか深く知らない人も多い部落差別。
「部落差別」は、その地域に居住する人々や、そこにルーツを持つ人々が
受けるべき権利を奪われてきた差別問題のこと。
ネットなどに広がる悪質な部落差別が問題になっている中、「Wの悲喜劇」では
「部落ってナニ？」をテーマに被差別部落出身のゲスト4名が赤裸々に経験を語った。

託児申込み方法

● 受付期間 5月20日(月)～6月27日(木)17:00まで(完全予約制です)

①古賀市公式LINEを開く



←友達追加は
ここから！

②メニューをひらき、
予約・申込の欄をタップ



③必要事項を入力し、申込を完了
※詳細について、人権センター職員が
ご連絡をする場合がございます。

